

# 社会科学習指導案

日時 平成 23 年 9 月 5 日 (火) 5 校時  
生徒 2 年 2 組  
(男子 13 名 女子 13 名 計 26 名)  
場所 2 年 2 組教室  
授業者 須藤 誠

## 1. 単元名

開国と近代日本の歩み～欧米の進出と日本の開国～

## 2. 単元について

この単元は、欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出した経過と日本が開国に至る理由を理解させることが目標となっている。世界においても、日本においても、「近代」が始まる時代の大きな転換点を扱う単元である。

## 3. 単元設定の理由

### (1) 教材観

18 世紀のヨーロッパには、啓蒙思想家の影響で自由な思想が広がりを見せ、コーヒーハウスで市民が語り合った。そしてそれまでの国王の政治に不満を、人権を認めた国家を形成するために革命を起こした。イギリスの権利の章典から始まった市民革命は、植民地だったアメリカ、アメリカの独立を支援したフランスとつながりながら広がっていき、日本にも影響してくる。

歴史的事象には、必ず理由や原因があり、知識を積むことで新たな側面が見えてくる。生徒達に、知ることの楽しさから学習意欲を高めたい。

### (2) 生徒観

市民革命に関しての小学校での既習内容はなく、生徒達はほぼ何も知らないと考えられる。標準学力調査で、歴史的分野の学級平均正答率は 48% で八幡平市の平均正答率 51.9% よりやや低めになってはいるが多くの生徒が意欲を持って授業に取り組んでおり、特に男子の一部が積極的に作業や発言をする。

しかし、一部の生徒が理解の定着が弱いまま、授業が進んでいる現状もある。授業では資料の読み取りなど多くの発言機会を設け、それらの生徒の支援をしたい。

### (3) 指導観

資料活用の機会を多く設定し、市民革命（フランス革命を中心に）の内容について把握させ、革命がその後の社会に及ぼした影響について考察させる。身分の風刺絵、ルイ 14 世、バスチーユ監獄の資料から 17 世紀のフランスの情勢を読み取らせ、身分の風刺絵、フランス革命の資料等から、18 世紀になり平民が立ち上がり、フランス革命がおきたことを読み取らせる。さらに、当時のコーヒーハウスの様子から平民を立ち上がらせたものが当時の社会風潮と思想の影響であることに気づかせる。市民革命の歴史的背景などを理解させることで、用語の暗記だけではなく、新たな視点から歴史的事象を再認識させて学ぶ楽しさと意欲につなげたい。

## 4. 研究主題との関わり

本校の研究主題「基礎・基本の定着を図る指導法の在り方～学ぶ意欲を高める工夫～」に伴い、本単元における基礎・基本を、以下の通りとした。

① 資料から、フランス革命のおきた時代背景を考察できる。

② 市民革命がその後の社会に及ぼした影響を考察できる。

## 5. 指導計画（6 時間扱い）

時	指導内容	評価規準			
		社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象への知識・理解
1	1 近代革命の時代 ・ アメリカの独立		アメリカ独立戦争ついて、その理由や背景を考察できる。	資料からアメリカ独立戦争に至った背景を読み取れる。	
2 【本時】	1 近代革命の時代 ・ ヨーロッパの繁栄 ・ フランス革命		「アメリカ独立宣言」「フランス人権宣言」から市民革命が目指したものを考察できる。	資料から、革命の背景や啓蒙思想・民主主義思想の特色を読み取れる。	

3	2 産業革命と欧米諸国 ・ ヨーロッパの繁栄 ・ 産業革命 ・ 資本主義の社会 ・ 19世紀の欧米諸国	欧米諸国の近代革命や産業革命に興味を持ち、近代国家の基礎がここにあることに気づき、その後のアジア侵略に大きな影響があったことについて課題を持って調べようとする。			産業革命による社会の変化を資本家と労働者立場から説明できる。
4	3 ヨーロッパのアジア進出 ・ イギリスのアジア貿易 ・ アヘン戦争 ・ インドの植民地化 ・ ロシアのアジア進出		ヨーロッパのアジア侵略について、その理由や背景を考察できる。	欧米諸国とアジア諸国の動きについて、図を利用してお互いの関連をまとめられる。	アヘン戦争の原因と南京条約について説明できる。
5	4 開国と不平等条約 ・ ペリーの来航 ・ 不平等な通商条約 ・ 開国の影響	開国と幕末について、欧米諸国の日本に対する見方や日本の庶民の見方に興味を持ち、様々な資料から調べようとする。	開国後の社会経済の動きと民衆の動きや尊皇攘夷運動などを関連付けて考えられる。		
6	5 江戸幕府の滅亡 ・ 尊皇攘夷運動の高まり ・ 倒幕への動き 大政奉還と王政復古		開国の影響とその後の後の幕府政治の推移について政治面・社会面から考察できる。		開国から江戸幕府滅亡までの経過の概念を年表にまとめて説明することができる。

## 6. 本時の指導

### (1) 本時の目標

- ① 身分制度、絶対王政の資料から当時の情勢を理解し、フランス革命時の時代背景を調べることができる。
- ② 市民革命がその後の社会に及ぼした影響を自分なりの考えを持ち、まとめることができる。

### (2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

評価の観点	A (十分に満足できる)	B (概ね満足できる)	C (努力を要する生徒への支援)
資料活用の技能・表現	資料を基に、革命の背景を説明できる。	資料から、革命の背景を考察できる。	机間巡視し、助言をする。また、生徒同士で確認させる。
社会的な思考・判断	市民革命が目指したものを説明できる。	「独立宣言」「人権宣言」と革命以前を比較し、国民の思想の変化を見つけることができる。	机間巡視し、助言をする。

### (3) 本時の構想

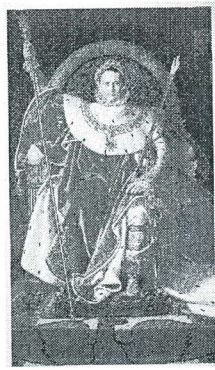
本時の範囲は、学習内容と資料が多いことから学習シートを活用した授業とし、教科書の資料等からフランス革命を中心に民主主義国家が誕生した経緯の理解と時代背景を資料から考察させることに重点をおく。

7. 本時の展開

段階	学 習 内 容・学 習 活 動	留意点・資料等
導入 10分	1. 前時の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アメリカ独立戦争の概略を確認する。</li> <li>・ ナポレオンについて知っていることを発表し合う。               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 皇帝になった。</li> <li>● 軍人だった。</li> </ul> </li> </ul> 2. フランス革命前の情勢を年表等からとらえる。 絶対王政（1615年～） <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「身分制度の様子」→平民が虐げられていた</li> <li>② 「ルイ 14 世」・「バステューク」→絶対王政</li> </ol> 3. 学習課題の設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の学習課題を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知っていることを自由に発言させる。</li> <li>○ ナポレオンがフランス革命をきっかけに皇帝になったことを教える。</li> <li>○ 資料からわかることを尋ねながら、17 世紀のフランスの情勢を解説する。</li> </ul>
フランス革命は、どうしておきたのか。		
展開 30分	4. 課題に対する予想 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フランス革命が起きた理由の予想を発表する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 我慢の限界だった。</li> </ul> </li> </ul> 5. 課題の追究 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フランス革命の起きた背景の要因を資料から調べる。</li> </ul> (1) 資料「コーヒーハウス」「ルイ 16 世の風刺」から 18 世紀の欧州の生活を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 話をしている。→世論の形成</li> <li>● 政治の批判をしている。→世論の形成</li> </ul> (2) 教科書から革命につながる記述がある部分を見つけ、線を引く。 <li>(3) ルソーの社会契約説(1762年)の影響について調べる。           <ol style="list-style-type: none"> <li>① フランス人権宣言</li> <li>② アメリカ独立宣言</li> </ol> </li> 6. 課題の解決 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「人権宣言」「独立宣言」の資料から、共通する思想を考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自由に自分の考えを発言させる。</li> <li>○ 資料、教科書から革命がおきた原因を考えさせ、世論が形成されたこと、自由な思想が広がっていたことに結びつける。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">資料から革命の背景を読み取れる【技能・表現】</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 革命による国の変化を発言させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「独立宣言」「人権宣言」と革命以前を比較し、人権思想の変化を見ることが出来る。【思考・判断】</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ アメリカ独立戦争、フランス革命が共に市民が民主制を求めておこしたことを理解させる。</li> </ul>
終末 10分	7. 本時のまとめ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時のまとめをする。</li> <li>→ルソーの影響を受けた民衆が、国民中心の政治を求めて起こした。</li> </ul> 8. 振り返りシートの記入 <ul style="list-style-type: none"> <li>→本時の学習を自分で振り返る。</li> </ul> 9. 家庭学習のアドバイス <ul style="list-style-type: none"> <li>→ワークP ～P</li> </ul> 10. 次時の予告 <ul style="list-style-type: none"> <li>→イギリス「マグナカルタ」「産業革命」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ フランス革命がルソーの影響と世論によっておきたことを理解させる。</li> <li>○ フランスの国旗が青&amp;赤「革命軍の帽章」白「王朝の象徴…白百合」に由来することを教える。</li> <li>○ 振り返りシートを記入後、係に回収させる。</li> </ul>

# 18世紀のフランス

## 1. 19世紀前半のフランスの英雄



我が輩の辞書に「不可能」の文字はない。

知っていることを書こう。

- 名前は？  
ナポレオン
- 何をした人？  
フランスで皇帝になった人

## 2. フランスの様子

### (1) 17世紀のフランス

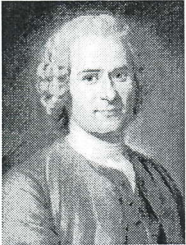
資料1 フランスの身分制度の様子	資料2 ルイ14世	資料3 バスティュー監獄
<p>僧侶 貴族 平民</p>	<p>朕は<b>国家</b>なり！</p>	
<p>どのような身分制度を風刺しているか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 3つに分かれていた</li> <li>• 平民が虐げられていた</li> </ul>	<p>どのような政治か？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 国王中心の政治をしていた。</li> </ul>	
<p>資料から17世紀のフランスがどのような国だったのかをまとめよう。</p> <p style="text-align: center;">国王と一部の人が、絶対の権力を持ち、政治をしていた。</p>		


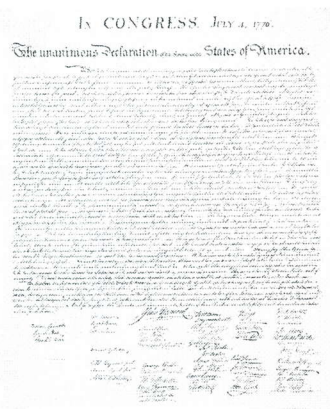
課題	フランス革命はなぜおきたのか？
----	-----------------

## 3. 18世紀の生活

資料7 18世紀のコーヒーハウスの様子	資料8 18世紀に発行されたルイ16世の絵	18世紀には、どのようなことがされていたか。
	<p>ah! le monde va mal! le bon Dieu nous le rendra, il est si gros, qu'il en est sot, bête, et renversé de monde, je n'en suis plus que le fruit.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自由に話がされた。</li> <li>• 政治の批判がされた。</li> </ul>

4. 思想家の影響

<p>資料6 啓蒙思想家 ルソー</p> 	<p>社会契約説（要約） 人間は生まれながらに自由などの権利をもつとし、その権利を維持するため、個人相互が契約を結んで出来たのが国家である。</p>
--	--

<p>資料7 フランス人権宣言</p> 	<p>第三条 いかなる主権の原理も本質的に国民に存する。どの団体も、どの個人もそこから明確に発しないような権威を行使することはできない。</p> <p>第六条 全ての市民は、法の下での平等にあるので、彼らの能力に従って彼らの徳や才能以上の差別なしに、全ての公的な位階、地位、職に対して平等に資格を持つ。</p>	<p>資料8 アメリカ独立宣言</p> 	<p>（要約） すべての人間は平等につくられている。創造主によって、生存、自由そして幸福の追求を含むある侵すべからざる権利を与えられている。これらの権利を確実なものとするために、人は政府という機関をもつ。</p>
---	---	---	--

<p>☆ アメリカ独立宣言とフランス人権宣言に共通する思想は何だろう。</p>	<p>すべての人が平等で、国民のために政府がある がという考え方が共通している。</p>
---	--